

八尾市「イノベーション推進拠点におけるコンテンツ作成および企画業務」
委託業務仕様書

業務名称 八尾市「イノベーション推進拠点におけるコンテンツ作成および企画業務」

履行期間 契約日から平成31年3月31日まで

1 趣旨

この仕様書は、「イノベーション推進拠点におけるコンテンツ作成および企画業務」（以下「本事業」という。）の受託候補者を公募型プロポーザル方式により選定するために必要な事項を定めた本事業公募型プロポーザル実施要領の業務内容の詳細を示し、企画提案書等の提出に必要な事項を定めるとともに、本事業の実施に当たって必要な事項を定めるものとします。

2 事業の実施方針

八尾市は、全国でも有数の中小企業のまちであり、数多くの製造事業所をはじめ、様々な産業が集積しています。

市内に集積する個性ある企業同士の共創を促進することで新たなイノベーションを起こすとともに、クリエイティブな体験ができる展示・体感スペースを設置することにより、クリエイティブな子どもの育成のみならず、将来の地域産業の担い手を育成する「イノベーション推進拠点（以下、『拠点施設』）」の開設（8月上旬予定）をめざしています。

本事業では拠点施設において市内企業の経営資源、強みを生かした『体感コンテンツ』の開発および企画運営を年間通じて行うことにより、企業の持つものづくりのワザ、凄さなどが楽しみながら体感できる場を創出することを目的とします。

そのため市内企業の経営資源や強みを生かしたものづくりの魅力を伝えるワークショップ等のコンテンツを開発するとともに、そのコンテンツを運営する実施手法（人員確保や広報戦略）について企画提案し、実施するものとします。

3 イノベーション推進拠点について

(1) 拠点施設の周辺地図及び平面図、完成予想図（イメージパース）等

▼図1：拠点施設の周辺地図

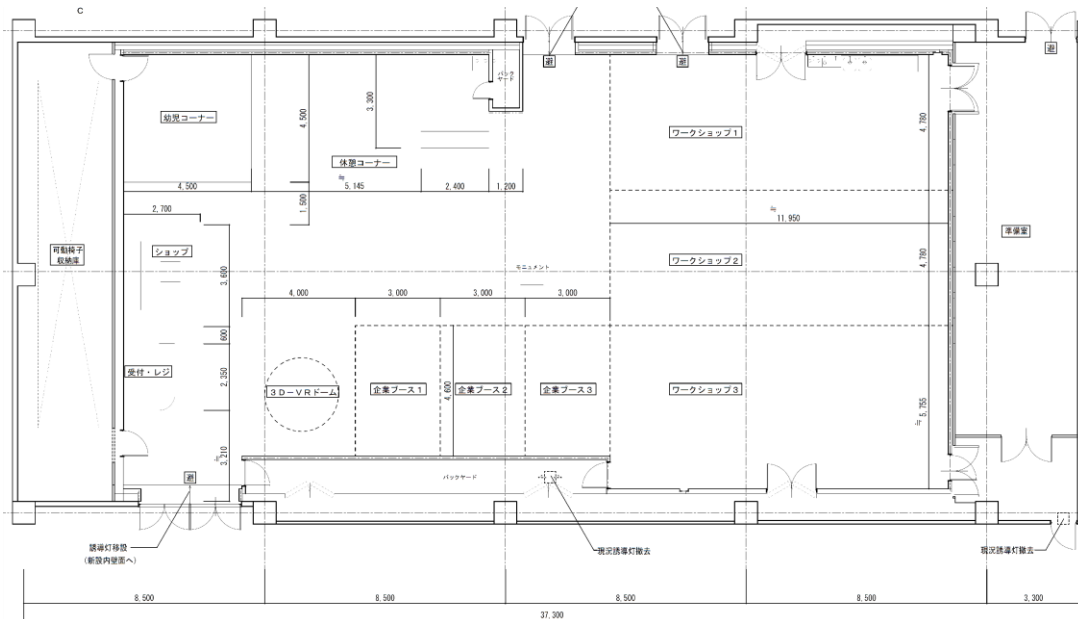
近鉄八尾駅前新商業施設「LINOAS（リノアス）」（大阪府八尾市光町2-60）8F



※現場説明会（4月9日実施）はこちらで実施いたします。

詳細は実施要領をご覧ください。

▼図2：拠点施設の平面図 約550㎡（約166坪） ※壁や造作物は含まず

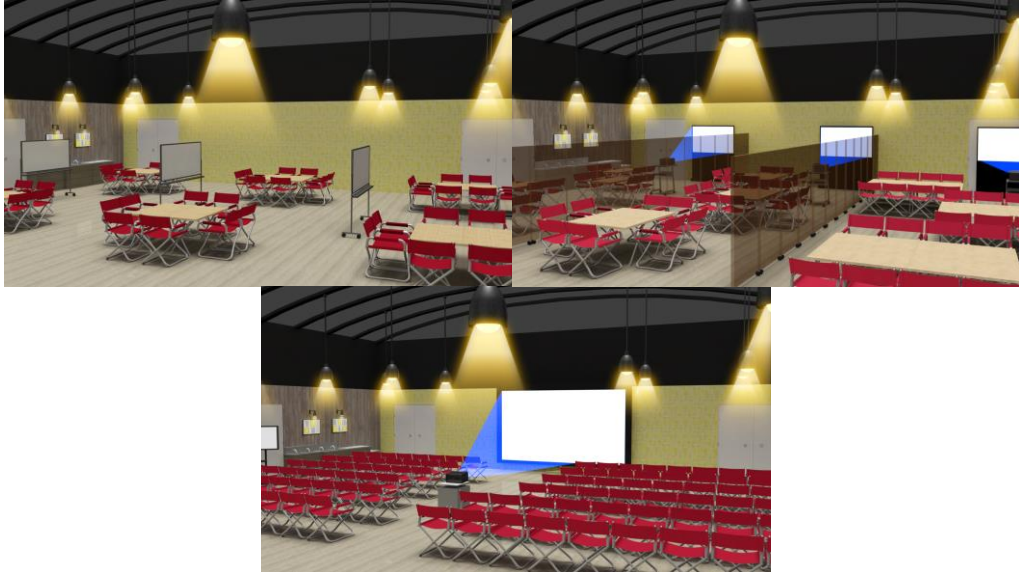


▼図3：完成予想図（イメージパース）

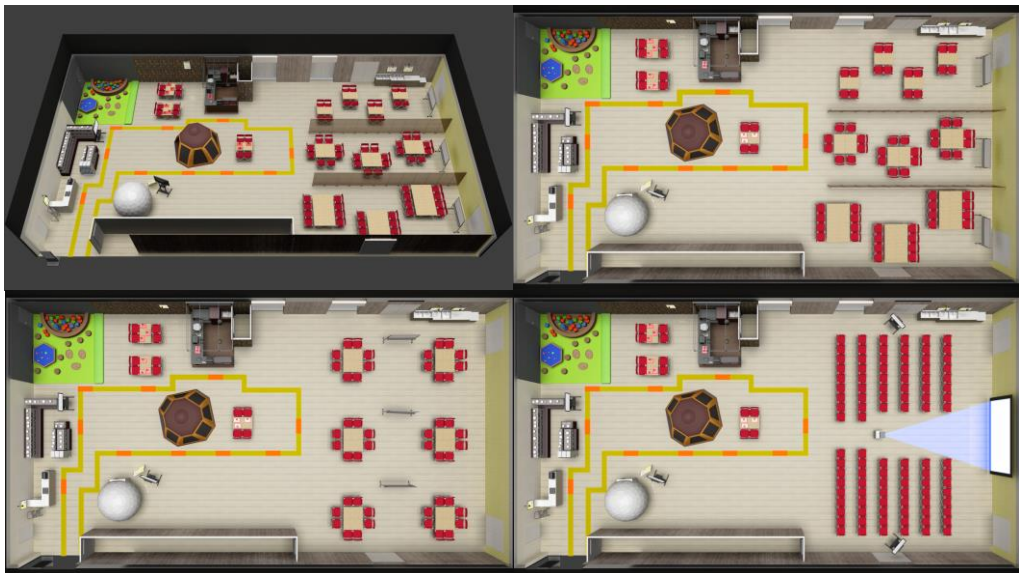




● 収容人数（ワークショップスペース）：100人



● レイアウトのイメージ



(2) 器具・備品

器具・備品名	メーカー・商品名・型番	数量
プロジェクター 中	エプソン EB-W05	3
プロジェクター 大	エプソン EB-L1505UH	1
ディスプレイ	シャープ 55 インチ ディスプレイ PN-Y556	5
150 インチスクリーン	電動スクリーン(16:9) BDR3322WEM-H2500	1
90 インチスクリーン	シャープ 90 インチスクリーン ELPSG25	3
昇降映写テーブル	シャープ 昇降映写テーブル SK-90E	4
簡易ステージ	INTELLI STAGE STAGE SET 2x3 H40 タフコート	2
パーテーション	木目調ローパーテーション H1800×W1200	20
チェア	スノーピーク FD チェアワイド RD LV-077RD	100
キッズチェア	スノーピーク FD KID'S チェア RD LV-072KRD	20
ベンチ	スノーピーク FD ベンチ RD LV-071RD	10
テーブル	スノーピーク ワンアクションテーブルロング竹 LV-015T	12
テント	スノーピーク ラウンジシェルオールインワン SET-500	1

音響：ワイレスマイク 4 本、タイピンマイク 4 本

(参考) 想定されるコンテンツ開発の対象となる市内企業について



※上記はあくまで八尾市「IoT を活用したハードウェアイノベーション推進拠点」構想デザインプロジェクト(平成 30 年 3 月末迄)に参画していた企業の一覧です。契約締結以降、コンテンツの開発の対象企業については、公募の上、決定する予定です。

3 実施期間

契約締結日から平成31年 3 月31日まで

4 事業費

八尾市「イノベーション推進拠点におけるコンテンツ作成および企画業務」
14,000,000 円(消費税及び地方消費税を含む。上限額)

5 委託事業の概要

(1) 事業名

八尾市「イノベーション推進拠点におけるコンテンツ作成および企画業務」

(2) 全体像

イノベーション推進拠点の立地・リソースを有効活用するとともに、市内企業の経営資源や魅力を活かしたワークショップ等のコンテンツの開発などに係る企画立案及び事業運営を行う受託候補者を選定する。

なお本事業実施にあたっては、本市および自主運営組織と十分に調整のうえ、行うこととする。

※自主運営組織とは…

「ものづくり体験ワークショップ」を通じて、子どもたちをはじめ、来場者が楽しみながら、市内企業の魅力を知ることができる施設の創設をめざし、八尾市「IoTを活用したハードウェアイノベーション推進拠点」構想デザインプロジェクトの中で発足した共同企業体のことを指します。（「(参考) 想定されるコンテンツ開発の対象となる市内企業について」を参照）

(3) 業務内容

事業の実施方針に基づき、下記の①から⑦までの業務内容について提案してください。

なお、業務は子どもを対象とした内容とすること。

また、契約期間において効率的に業務を遂行できるように、組織内において本事業に関する事務局を設置すること。

① ワークショップ等のコンテンツ企画・開発

市内企業の経営資源や強みを生かしたものづくりの魅力を伝えるワークショップ等のコンテンツを企画し、10社以上のコンテンツを開発すること。なお開発にあたっては集客予測にあわせて、平日や土日、時間帯などターゲット層を十分考慮した内容を企画するとともに、平日の専属スタッフを必要としないコンテンツの開発も含んだものとする。

② ワークショップ等の運営手法

ワークショップ等の実施にあたり、運営に必要なボランティアスタッフなどの人員確保の方法や当日、運営手法（安全確保等）を提案すること。

③ コンテンツ開発を行う企業内の人材育成

ワークショップ等を開発するにあたり、受託候補者だけで開発を進めるのではなく、次期以降は市内企業が自社でも開発できるように人材育成も視野に入れた開発手法により実施すること。

④ プログラムの構成・監修

オープニングイベントも含め、土日祝日及び長期休業期間（夏季・冬季）を中心とし

たワークショップの開催日におけるプログラム構成や監修を行うこと。なお平日のプログラムの構成・監修も合わせて行うこと。

⑤ オープニングイベントの開催

8月上旬に予定している拠点施設のオープンに合わせて数社程度のコンテンツを開発し、オープニングイベントを企画・運営すること。なお、受託候補者のこれまでの実績やノウハウを活かしてイベントの企画案を独自提案すること。

⑥ 周知募集活動ならびに広報戦略

施設の利用者獲得のため、受託事業者のネットワークを用いて広報するとともに、SNSを活用するなど、幅広く当該事業について広報すること。

- ・当該事業に関する効果的なコンテンツの制作、PRについて
事業の魅力や意義が伝わる効果的なコンテンツ等を作成し、PRすること。

- ・SNSの活用及びマスメディアの活用について

SNSにて、広報活動を行うとともに、事業PRのために積極的にテレビや雑誌、新聞、Web等の主要メディアを積極的に活用して周知を進めること。

⑦ 進捗管理の手法について

ワークショップや交渉内容を含め、書類、音声及び画像等を活用しながら事業に関する進捗管理の記録を行うことにより参画企業内の情報共有及び当該事業に関する広報戦略を含めた情報発信を行うとともに、事業を実施する上で蓄積されたノウハウを書面にまとめること。なお、記録された書類、音声及び画像等については、最終的に本市に報告を行うこと。

- ・定例及び随時のミーティングの開催

月1回程度、定例ミーティングを行うとともに、必要に応じて随時のミーティングを行い、月次での進捗報告及び課題の共有、本業務における重要事項の検討を行う。その際の議事については作成の上、本市に報告を行うこと。

- ・進捗状況報告書の提出

月1回程度、進捗報告書を本市に提出すること。

6 その他

(1) 個人情報の保護の重要性を認識し、八尾市個人情報保護条例（平成10年条例第15号）その個人情報に関するその他法令を遵守すること。

(2) 本事業の実施で得られた成果物、情報（個人情報を含む）等については本市に帰属します。

(3) 全部を一括して、又は主たる部分の再委託を禁止することとし、必要がある場合は本市と協議するものとします。

(4) その他、事業の実施に際しては本市の指示に従うこと。

(5) その他詳細については、本市と本事業の委託契約を締結する際に別途、協議する。

(6) 本事業中に知り得た事項を、他に漏らさないこと。

7 成果物

本事業の契約完了日までに（１）～（２）の成果物を本市に提出すること。なお成果物については、紙媒体及びデータ（Word、Excel、PowerPoint、PDF 等）により納品するものとします。

（１）企画書、広報物、ワークショップ等の実施報告

（２）事業実績報告書（提出期限：平成31年3月31日）